

日本のベトナムへの保健医療分野におけるおもなODAプロジェクト（1/2）

日本はベトナムの保健医療分野におけるODAでは、おもに技術協力や円借款を実施している。日本のベトナムへの保健医療分野における技術協力では、国立病院であるバクマイ病院・フエ中央病院・チョーライ病院を対象とした病院機能の強化と、人材開発に関するこれまでの取組に基づいた研修システムの開発と全国的な展開をめざす「保健医療従事者の質の改善プロジェクト」のほか、ホアビン省で構築した地域医療指導活動（Direction Office for Healthcare Activities : DOHA）の他の省への普及とリファラルシステムの改善をめざす「北西部保健医療サービス強化プロジェクト」等を実施している（図表・22）。北西部保健医療サービス強化プロジェクトではこれまでに導入したDOHAに基づき、省・郡の医療機関とコミュンヘルスステーションまでのリファラルシステムの構築に取り組んでおり、医療情報の交換がさかんになると考えられる。また、日本のベトナムへの保健医療分野における円借款では、「第2期地方病院医療開発事業」を通じて10の医療機関を整備する予定である。

日本のベトナムへの保健医療分野におけるおもなODAプロジェクト（2/2）

図表・22 日本のベトナムへの保健医療分野におけるおもな技術協力・円借款

技術協力
<p>【保健医療従事者の質の改善プロジェクト（2010年7月～2015年7月）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● JICAはこれまで国立のバクマイ病院・フエ中央病院・チョーライ病院に対して、病院機能の強化と人材開発に関する技術協力を実施してきた。本プロジェクトではこれまでの成果を整理し、効果的な研修システムの開発と全国的な展開をめざす <ul style="list-style-type: none"> ➢ 医療サービス分野の人材育成に関するマスタープランの作成 ➢ 研修カリキュラム・教材の作成 ➢ ベトナム MOH 医療サービス管理能力向上研修センターと国立病院、省の医療機関での運用 等 <p>【北西部保健医療サービス強化プロジェクト（2013年3月～）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ベトナム北西部のホアビン省・ソンラ省・ディエンビエン省・ラオカイ省・ラインチャウ省・イエンバイ省の6省において、保健医療に関する行政能力を強化し、DOHA の普及とリファラルシステムの改善を図り、保健医療サービスの向上をめざす <ul style="list-style-type: none"> ➢ ホアビン省において導入した DOHA(ホアビンモデル)に関するマネジメント能力の強化 ➢ <u>ホアビン省における省・郡の医療機関とコミュニンヘルスステーションまでのリファラルシステムの構築</u> ➢ ホアビンモデルを導入する5省における省・郡の医療機関の DOHA とリファラルシステムに関するマネジメント能力の強化
円借款
<p>【第2期地方病院医療開発事業（2013年3月～）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第1期地方病院医療開発事業では、ベトナム北部の3つの医療機関を整備する円借款契約を2006年に締結し、2008年から整備を開始して2010年に完了している。2013年3月からの第2期地方病院医療開発事業では円借款により、2017年にかけて10の医療機関を整備する予定 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 円借款契約額:86億9,300万円 ➢ 整備する医療機関:10(7つの総合病院・3つの専門病院) ➢ 事業完了予定時期:2017年3月

出所) JICA 資料を基に作成